

## 基本計画書

基本計画																																																																																																			
事項	記入欄								備考																																																																																										
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更																																																																																																		
フリガナ設置者	コクリツガクホジシ ハマツウカダガク 国立大学法人 浜松医科大学																																																																																																		
フリガナ大学の名称	ハマツウカダガクダクイン 浜松医科大学大学院 [Graduate School, Hamamatsu University School of Medicine]																																																																																																		
大学本部の位置	静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号																																																																																																		
大学の目的	浜松医科大学は、医学・看護学の教育及び研究の機関として、最新の理論並びに応用を教授研究し、高度の知識・技術及び豊かな人間性と医の倫理を身に付けた優れた臨床医・看護専門職並びに医学研究者・看護学研究者を養成することを目的とする。																																																																																																		
新設学部等の目的	倫理観と国際的視野を備え、異分野と融合して看護学分野での新たな価値を創出する教育・研究によって社会に貢献する人材を養成することを目的とする。																																																																																																		
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は称号	開設時期及び開設年次 年月 第 年次	所在地	【基礎となる研究科】医学系研究科看護学専攻（修士課程） 【基礎となる学部】医学科看護学科 14条特例の実施																																																																																										
	計	3	3	—	9	博士（看護学）【Doctor of Philosophy in Nursing】	令和4年4月第1年次	静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号																																																																																											
同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">令和4年4月 大学院医学系研究科を次のとおり改組予定</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">（改組前）</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">（改組後）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医学系研究科</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">入学定員</td> <td style="text-align: center;">医学系研究科</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">入学定員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">看護学専攻 （修士課程）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">看護学専攻 （博士前期課程）（名称変更）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">小計</td> <td style="text-align: center;">（博士後期課程）（新設）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">小計</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医学専攻 （博士課程）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">医学専攻 （博士課程）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">光医工学共同専攻 （博士後期課程）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">光医工学共同専攻 （博士後期課程）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">36</td> </tr> </table>									令和4年4月 大学院医学系研究科を次のとおり改組予定										（改組前）					（改組後）					医学系研究科	入学定員				医学系研究科	入学定員				看護学専攻 （修士課程）	16				看護学専攻 （博士前期課程）（名称変更）	16					小計				（博士後期課程）（新設）	3					16				小計	19				医学専攻 （博士課程）	30				医学専攻 （博士課程）	30				光医工学共同専攻 （博士後期課程）	3				光医工学共同専攻 （博士後期課程）	3				合計	33				合計	36			
令和4年4月 大学院医学系研究科を次のとおり改組予定																																																																																																			
（改組前）					（改組後）																																																																																														
医学系研究科	入学定員				医学系研究科	入学定員																																																																																													
看護学専攻 （修士課程）	16				看護学専攻 （博士前期課程）（名称変更）	16																																																																																													
	小計				（博士後期課程）（新設）	3																																																																																													
	16				小計	19																																																																																													
医学専攻 （博士課程）	30				医学専攻 （博士課程）	30																																																																																													
光医工学共同専攻 （博士後期課程）	3				光医工学共同専攻 （博士後期課程）	3																																																																																													
合計	33				合計	36																																																																																													
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数																																																																																													
	医学系研究科 看護学専攻 （博士後期課程）	講義 13 科目	演習 9 科目	実験・実習 0 科目	計 22 科目	13 単位																																																																																													
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任 教員等																																																																																										
	新設分	医学系研究科 看護学専攻（博士後期課程）		教授 8 人 (8)	准教授 4 人 (4)	講師 1 人 (1)	助教 0 人 (0)	計 13 人 (13)	助手 0 人 (0)	18 人 (18)																																																																																									
		計		8 人 (8)	4 人 (4)	1 人 (1)	0 人 (0)	13 人 (13)	0 人 (0)	18 人 (18)																																																																																									
	既設分	医学系研究科 看護学専攻（修士課程）		9 (9)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	20 (20)																																																																																									
		医学系研究科 医学専攻（博士課程）		45 (45)	29 (29)	28 (28)	96 (96)	198 (198)	0 (0)	1 (1)																																																																																									
		医学系研究科 光医工学共同専攻（博士後期課程）		7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	47 (47)																																																																																									
		計		61 (61)	34 (34)	30 (30)	96 (96)	221 (221)	0 (0)	68 (68)																																																																																									
合計			70 (70)	39 (39)	31 (31)	97 (97)	237 (237)	0 (0)	86 (86)																																																																																										

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		144 人 (144)	170 人 (170)	314 人 (314)					
	技 術 職 員		946 (946)	186 (186)	1132 (1132)					
	図 書 館 専 門 職 員		5 (5)	0 (0)	5 (5)					
	そ の 他 の 職 員		7 (7)	57 (57)	64 (64)					
計		1102 (1102)	413 (413)	1515 (1515)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	24,898 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,898 m <sup>2</sup>					
	運 動 場 用 地	38,334 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	38,334 m <sup>2</sup>					
	小 計	63,232 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,232 m <sup>2</sup>					
	そ の 他	237,383 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	237,383 m <sup>2</sup>					
合 計	300,615 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	300,615 m <sup>2</sup>						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
		42,616 m <sup>2</sup> ( 42,616 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	42,616 m <sup>2</sup> ( 42,616 m <sup>2</sup> )					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体			
	16室	38室	15室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		大学院医学系研究科看護学専攻 (博士後期課程)		13 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数		
	大学院医学系研究科看護学専攻 (博士後期課程)	48,262 [ 6,568] (48,262 [ 6,568])	760 [ 333] ( 760 [ 333])	1,580 [ 159] ( 1,580 [ 159])	883 ( 883)	3,375 ( 3,375)	1 ( 1)			
	計	48,262 [ 6,568] (48,262 [ 6,568])	760 [ 333] ( 760 [ 333])	1,580 [ 159] ( 1,580 [ 159])	883 ( 883)	3,375 ( 3,375)	1 ( 1)			
図 書 館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			大学全体			
		2,158 m <sup>2</sup>	351	61,283						
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		1,371 m <sup>2</sup>	武道館 1, 弓道場 1, プール 1, テニスコート 4 面							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	国費 (運営費交付金) による
		教員 1 人当り研究費等		—	—	—	—	—	—	
		共同研究費等		—	—	—	—	—	—	
		図書購入費	—	—	—	—	—	—	—	
	設備購入費	—	—	—	—	—	—	—	—	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		—								

既設大学等の状況	大学の名称	浜松医科大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	医学部								
	医学科	6	115	2年次 5	715	学士（医学）	0.99	昭和49年度	静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
	看護学科	4	60	3年次 10	260	学士（看護学）	1.00	平成7年度	
	医学系研究科								
	看護学専攻 （修士課程）	2	16	—	32	修士（看護学）	0.99	平成11年度	
	医学専攻 （博士課程）	4	30	—	120	博士（医学）	1.38	平成24年度	
	光医工学共同専攻 （博士後期課程）	3	3	—	9	博士（光医工学）	1.00	平成30年度	
	附属施設の概要	名称：浜松医科大学医学部附属病院 目的：診療 所在地：静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号 設置年月：昭和52年4月 規模等：土地18,975㎡、建物13,843㎡（延面積73,338㎡）							

# 国立大学法人浜松医科大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和3年度

入学 編入学 収容  
定員 定員 定員

令和4年度

入学 編入学 収容  
定員 定員 定員

変更の事由

浜松医科大学			
医学部		2年次	
医学科	115	5	715
		3年次	
看護学科	60	10	260
		2年次	
		5	
計	175		975
		3年次	
		10	
浜松医科大学大学院			
医学系研究科			
医学専攻（4年制D）	30	—	120
看護学専攻（M）	16	—	32
光医工学共同専攻（D）	3	—	9
計	49	—	161

浜松医科大学				
医学部		2年次		
医学科	<u>100</u>	5	<u>625</u>	定員変更（△15）
		3年次		
看護学科	60	10	260	
		2年次		
		5		
計	<u>160</u>		<u>885</u>	
		3年次		
		10		
浜松医科大学大学院				
医学系研究科				
医学専攻（4年制D）	30	—	120	
看護学専攻（M）	16	—	32	
<u>看護学専攻（D）</u>	<u>3</u>	—	<u>9</u>	課程変更（意見伺い）
光医工学共同専攻（D）	3	—	9	
計	<u>52</u>	—	<u>170</u>	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学系研究科看護学専攻博士後期課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			○			1						兼3 オムニバス
	医療倫理学	1後		2		○									兼9 オムニバス
	行動神経科学	1前		2		○									兼1 集中
	医学統計学	1後		2		○									兼1 集中
	疫学方法論	1・2通		2		○									兼3 隔年
	小計（5科目）	—	1	8			—	1							兼17
専門科目	基盤・成熟期看護学	基礎看護学特講	1通		2		○		1						
		基礎看護学特別演習	1通		2			○	1						
		健康科学特講	1通		2		○		1	1					共同
		健康科学特別演習	1通		2			○	1	1					共同
		小計（4科目）	—		8			—	2	1					
	成育・広域看護学	成人看護学特講	1通		2		○		1	1					
		成人看護学特別演習	1通		2			○	1	1					共同
		高齢者看護学特講	1通		2		○		1						兼1 共同
		高齢者看護学特別演習	1通		2			○	1						兼1 共同
		小計（4科目）	—		8			—	2	1					兼1
特別研究	リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		○		2						共同	
	リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2			○	2						共同	
	小児看護学特講	1通		2		○			1	1				共同（一部）	
	小児看護学特別演習	1通		2			○		1	1				共同	
	小計（4科目）	—		8			—	2	1	1					
	地域看護学特講	1通		2		○		1	1					共同（一部）	
	地域看護学特別演習	1通		2			○	1	1					共同	
	精神看護学特講	1通		2		○		1							
精神看護学特別演習	1通		2			○	1								
小計（4科目）	—		8			—	2	1							
特別研究	1～3通	6				○		8	4						
小計（1科目）	—	6				—	8	4							
合計（22科目）		—	7	40	0		—	8	4	1	0			兼18	
学位又は称号		博士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目1単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目6単位の合計13単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。							1学年の学期区分				2学期				
							1学期の授業期間				15週				
							1時限の授業時間				90分				

教育課程等の概要																
(大学院医学系研究科看護学専攻修士課程)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護研究 * 2 * 4	1 前		2		○			8						兼1 オムニバス	
	看護教育論 * 2 * 4	1 後		2		○			1						兼1 共同 (一部)	
	看護理論 * 1 * 2 * 4	1 後		2		○			1						共同 (一部)	
	看護倫理 * 1 * 2 * 4	1 前		2		○			2						兼2 オムニバス・共同 (一部)	
	看護政策論 * 2 * 4	1 前		2		○			2	2					兼3	
	看護管理 * 2	1 後		2		○			2						兼1 オムニバス	
	看護コンサルテーション論 * 2	1 後		2		○			1		1				兼4 オムニバス・共同 (一部)	
	フィジカルアセスメント * 3	1 後		2		○			1						兼9 オムニバス	
	病態生理学 * 3	1 前		2		○			1						兼8 オムニバス・共同 (一部)	
	臨床薬理学 * 3	1 後		2		○				1					兼5 オムニバス	
	免疫学 * 4	1 前		2		○			1							
	病理学 * 4	1 前		2		○									兼1	
	小計 (12科目)	—	—	0	24	0	—	—	—	8	3	1				兼29
専門科目	基礎看護学	基礎看護学特論 * 1	1 通	4		○			2						兼2 オムニバス・共同 (一部)	
		基礎看護学演習	1 後～2 前	4			○		1							
		健康科学特論	1 通	4		○			1	1						
		健康科学演習	1 後～2 前	4			○		1	1						
		小計 (4科目)	—	0	16	0	—	—	3	1						兼2
	成人・老人看護学	成人看護学特論	1 通	4		○			2	1						
		成人看護学演習	1 後～2 前	4			○		2	1						
		老人看護学特論	1 通	4		○			1		1					
		老人看護学演習	1 後～2 前	4			○		1		1					
		高齢者看護学特論 I	1 前	2		○			1		1					兼1 オムニバス
		高齢者看護学特論 II	1 前	2		○			1		1					兼7 オムニバス・共同 (一部)
		高齢者看護学特論 III	1 後	2		○			1		1					兼7 オムニバス・共同 (一部)
		高齢者看護学特論 IV	1 後	2		○			1		1					兼2 オムニバス
		高齢者看護学特論 V	2 前	2		○			1		1					兼2 オムニバス・共同 (一部)
高齢者看護学演習 I		1 通	2			○		1		1					兼1 オムニバス・共同 (一部)	
高齢者看護学演習 II		2 通	2			○		1		1					兼5 オムニバス・共同 (一部)	
高齢者看護学実習 I		1 通	6				○	1		1					兼3 共同	
高齢者看護学実習 II		2 通	4				○	1		1					兼1 共同	
高齢者看護学課題研究	2 通	4				○	1									
小計 (14科目)	—	0	44	0	—	—	3	1	1					兼25		
母子看護学	母性看護学特論	1 通	4		○			2								
	母性看護学演習	1 後～2 前	4			○		2								
	小児看護学特論	1 通	4		○				1	1						
	小児看護学演習	1 後～2 前	4			○			1	1						
	小計 (4科目)	—	0	16	0	—	—	2	1	1						
地域・精神看護学	地域看護学特論	1 通	4		○			1	2							
	地域看護学演習	1 後～2 前	4			○		1	2							
	精神看護学特論	1 通	4		○			1								
	精神看護学演習	1 後～2 前	4			○		1								
	小計 (4科目)	—	0	16	0	—	—	2	2							
助産学	助産学特論 I	1 前	2		○			1				2			兼2 オムニバス・共同 (一部)	
	助産学特論 II	1 後	2		○			1							兼3 オムニバス	
	助産学特論 III	1 前	3		○			1			1				兼13 オムニバス	
	助産学特論 IV	2 前	1		○			2			1				兼2 オムニバス	

助産学	助産学特論V	1前	3	○		1			1	兼1	オムニバス	
	助産学特論VI	1前	2	○		1			1	兼1	オムニバス	
	助産学特論VII	1前	2	○		2				兼5	オムニバス	
	助産学特論VIII	1通	3	○		2	1	1	1	兼4	オムニバス・共同(一部)	
	助産学特論IX	2前	2	○		1			2	兼3	オムニバス	
	助産学演習I	1通	3		○	1			2	兼1	オムニバス・共同(一部)	
	助産学演習II	1後～2前	3		○	1			2		共同	
	助産学実習I	1通	11			1			2		共同	
	助産学実習II	1後～2前	4			1			2		共同	
	助産学実習III	2通	5			1			2		共同	
	助産学実習IV	2前	2			1			2		共同	
	助産学実習V	2後	1			1			2		共同	
	助産学研究	1後	1		○	1			2		兼1	オムニバス・共同(一部)
	助産学課題研究	2通	4		○	1						
	小計(18科目)	—	0	54	0	—	2	1	1	2	兼33	
	特別研究	2通		14		○	9	4				
	小計(1科目)	—	0	14	0	—	9	4				
	合計(57科目)		—	0	184	0	—	9	4	2	2	兼79
学位又は称号	修士(看護学)	学位又は学科の分野		保健衛生学関係(看護学関係)								
卒業要件及び履修方法						授業期間等						
<p>原則として2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。</p> <p>また、高度看護実践コースは42単位以上、助産師養成コースは58単位以上の修得が必要である。</p> <p>*1 基礎看護学特論には、看護理論2単位及び看護倫理2単位を含む(基礎看護学特論を履修しようとする者は看護理論、看護倫理を選択できない)。</p> <p>【修論コース】          共通科目 全科目の中から4単位以上を選択          専門科目 (1) 専門分野のうち主領域の特論及び演習の8単位を選択          (2) (1)で選択した以外の特論4単位以上を選択          (3) 特別研究14単位を必修</p> <p>【高度看護実践コース】          共通科目 *2の科目の中から8単位以上を選択          *3の科目の中から6単位以上を選択          専門科目 成人・老人看護学の科目の中から高齢者看護学の科目28単位を必修</p> <p>【助産師養成コース】          共通科目 *4の科目の中から看護研究・看護教育論を含む4単位以上を選択          専門科目 助産学の科目54単位を必修</p>						1学年の学期区分		2学期				
						1学期の授業期間		15週				
						1時限の授業時間		90分				

教育課程等の概要																
(医学部看護学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科学	医療概論	1前	3			○	○		1					兼26	オムニバス・共同（一部）	
	倫理学	1前	2			○								兼1		
	生命科学	1前	2			○								兼4	オムニバス	
	心理行動科学Ⅰ	1前	2			○								兼1		
	物理科学	1前	1			○								兼2	オムニバス	
	看護統計学	2前	2			○								兼1		
	健康と運動	1後	1			○								兼1		
	心理行動科学Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	法学	1前		2		○								兼1		
	医療人類学	1前		2		○								兼1		
	医療法学	1後		2		○								兼1		
	哲学	1後		2		○								兼1		
	医療経済・社会学	2前		2		○								兼1		
	統計学	1後		2		○								兼1		
	小計（17科目）	—	—	13	14	4	—	—	—	1	0	0	0	0	兼40	
	外国語	英語Ⅰ	1前	1				○							兼1	
英語Ⅱ		1後	1				○							兼1		
英語Ⅲ		2前	1				○							兼1		
英語Ⅳ		3前	1				○							兼1		
英会話		1前		1			○							兼1		
独語Ⅰ		1前		1			○							兼1		
独語Ⅱ		1後		1			○							兼1		
仏語Ⅰ		1前		1			○							兼1		
仏語Ⅱ		1後		1			○							兼1		
小計（9科目）		—	—	4	0	5	—	—	—	0	0	0	0	0	兼7	
看護専門基礎科目	解剖学	1通	3			○										
	生理学	1通	3			○										
	生化学・栄養学	2前	2			○			1	1				兼2	オムニバス	
	人類遺伝学	2前	1			○			1					兼1	オムニバス	
	疫学	3前	1			○			1							
	保健統計学	3前	1			○			1							
	環境と健康	1後	1			○			1					兼1	オムニバス	
	微生物学	1後	2			○			1							
	免疫学	1後	1			○			1							
	病理学	2通	3			○								兼1		
	放射線医学	3前	1			○								兼8	オムニバス・共同（一部）	
	臨床検査医学	3後	1			○								兼5	オムニバス	
	臨床薬理学	3前	2			○				1				兼1	オムニバス	
	病態生理学	2前	2			○				1				兼12	オムニバス・共同（一部）	
	健康障害と食事療法	3後	1			○				1				兼1	オムニバス・共同（一部）	
	社会福祉制度論	2前	1			○			1					兼3	オムニバス	
	保健医療行政論	2後	1			○			1					兼5	オムニバス	
小計（17科目）	—	—	27	0	0	—	—	—	2	2	0	0	0	兼39		

基礎看護学	看護学概論	1前	2			○			1								
	基礎看護技術Ⅰ	1通	3			○	○		1	1		2					共同
	基礎看護技術Ⅱ	2前	2			○	○		1	1		2					共同
	基礎看護方法論	2前	2			○			1	1		2					共同
	看護倫理	2後	1			○			1			1					共同
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1					○	1			2				兼1	共同
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					○	1			2				兼1	共同
	小計(7科目)	—	13	0	0	—			1	1	0	2	0			兼1	
母性看護学	母性・父性の発達と健康	2前	1			○			1								
	周産期の健康と疾病	3前	2			○			1							兼8	オムニバス・共同(一部)
	母性看護方法論	3後	1				○		1			2					オムニバス・共同(一部)
	母性看護学実習	3後～4前	2					○	1			1					共同
	小計(4科目)	—	6	0	0	—			1	0	0	2	0			兼8	
小児看護学	小児看護学概論	1後	1			○				1							
	小児の発達と看護	2前	1			○					1						
	小児看護援助総論	2後	1				○			1	1						オムニバス
	小児看護援助各論	3前	1				○			1	1						オムニバス・共同(一部)
	小児看護学実習	3後～4前	2					○		1	1						共同
	小計(5科目)	—	6	0	0	—			0	1	1	0	0			兼4	
成人看護学	成人の発達と看護の役割	2前	1			○			1								
	急性期健康問題と看護Ⅰ	2後	1				○		1							兼1	共同(一部)
	急性期健康問題と看護Ⅱ	3前	1				○		1								
	回復期健康問題と看護	3前	1				○			1		2				兼1	オムニバス・共同(一部)
	慢性期健康問題と看護Ⅰ	2後	1				○		1							兼1	オムニバス
	慢性期健康問題と看護Ⅱ	3前	1				○		1								
	成人看護学演習	3後	1				○			1		2					共同
	成人看護学実習	3後～4前	6					○	2	1		2					共同
	小計(8科目)	—	13	0	0	—			2	1	0	2	0			兼3	
老年看護学	老年期の理解と看護	2後	1			○			1			1					共同(一部)
	老年期の生活と看護	2後	1			○			1			1					オムニバス・共同(一部)
	老年期の健康障害と看護	3前	2			○			1			1					オムニバス・共同(一部)
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	1					○	1		1	1					共同
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	3					○	1		1	1					共同
	小計(5科目)	—	8	0	0	—			1	0	1	1	0			兼1	
精神看護学	精神の健康	2前	1			○			1								
	精神疾患と医療	2後	1			○			1								兼2
	精神看護学総論	3前	1			○			1								
	精神看護援助論	3後	1			○			1			1					オムニバス・共同(一部)
	精神看護学実習	3後～4前	2					○	1			1					共同
	小計(5科目)	—	6	0	0	—			1	0	0	1	0			兼2	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2			○			1	1		1					兼1
	保健指導総論	2後	1			○				1							兼3
	保健指導方法論Ⅰ	3前	2			○				1							オムニバス・共同(一部)
	産業看護活動	3前	2			○			1								兼1
	学校看護活動	3前	1			○				1							兼1
	地区活動論	3前	1			○				1		1					オムニバス・共同(一部)
	保健指導方法論Ⅱ	3後	1			○			1	2							兼3
	地域ケアシステム論	3前	1			○				1							兼3
	健康教育論	3後	2			○			1	1		1					オムニバス・共同(一部)
	公衆衛生看護学応用論	4後	1			○			1	1							兼1
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後～4前	4					○	1	1		1					共同
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	3後～4前	1					○	1	1		1					共同
	小計(12科目)	—	19	0	0	—			1	2	0	1	0			兼14	
	在宅看護学	在宅看護学概論	2後	1			○				1		1				
在宅看護方法論		2後	1			○				1							兼1
対象別在宅看護援助論		3前	2			○				1		1					兼4
在宅看護学実習		3後～4前	2					○		1		1					共同
小計(4科目)		—	6	0	0	—			0	1	0	1	0			兼7	

応用看護学	感染看護	3後	1			○			1								
	ターミナル看護	4後	1			○			1						兼1	オムニバス	
	災害看護	4後	2			○	○		7	2						オムニバス	
	救急看護	4後			1	○			1								
小計(4科目)		—	4	0	1	—			7	2	0	0	0	兼1			
総合看護学	看護研究	3後	1			○			7					兼1	オムニバス		
	看護管理	4後	1			○			1					兼1	オムニバス		
	統合看護	4前	2				○		8	5							
	卒業研究	4後	2				○		8	5							
小計(4科目)		—	6	0	0	—			8	5	0	0	0	兼2			
合計(101科目)		—	131	14	10	—			9	6	2	12	0	兼129			
学位又は称号	学士(看護学)	学位又は学科の分野		保健衛生学関係(看護学関係)													
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
原則として4年在学し、必修科目131単位(総合科学より13単位、外国語より4単位、看護専門基礎科目より27単位、基礎看護学より13単位、母性看護学より6単位、小児看護学より6単位、成人看護学より13単位、老年看護学より8単位、精神看護学より6単位、公衆衛生看護学より19単位、在宅看護学より6単位、応用看護学より4単位、総合看護学より6単位)、選択必修8単位(総合科学より8単位)を履修し、合計139単位以上を修得していること。 うち、総合科学の選択必修8単位については、2年次までに修得していること。								1学年の学期区分				2期					
								1学期の授業期間				15週					
								1時限の授業時間				90分					

## 授 業 科 目 の 概 要

（大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程）

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	看護学研究方法論	<p>【目標】研究を戦略的に実施し効果的に成果発表を行うための方法や、異分野と融合し学際的研究を行うため基本的知識を修得する。</p> <p>【概要】研究資金獲得のための戦略、異分野と連携して新たな価値を創造するための方法論や研究成果を世界に向けて効果的に発信する方法を学修することを通じて高度で実践的な研究を自立して行う能力を養う。</p> <p>（オムニバス方式／全8回）</p> <p>（⑧ 渡井いずみ／3回） 研究資金を獲得する戦略として、研究計画書を効果的に作成する方法について学修する。計画書の一部を作成し、プレゼンテーションとディスカッションを行う。研究成果を世界に向けて効果的に発信する方法として、英語での論文の書き方を学修する。</p> <p>（28 Michel Johnson／3回） 研究成果を世界に向けて効果的に発信する方法として、英語での論文の書き方を学修する。英語による論文執筆を一部行い、助言を受ける。英語でのプレゼンテーションについて学修する。英語によるプレゼンテーションを実施し、ディスカッションを行う。</p> <p>（34 庭山正嗣／1回） 工学分野と連携して学際的研究を行う方法について学修する。工学分野と看護・医療分野で学際的に行われる研究の例を理解し、異分野の研究者と議論ができる素養を身に付ける。自身の研究の発展性を検討する。</p> <p>（33 金 鎮赫／1回） 情報学分野と連携して学際的研究を行う方法について学修する。情報学分野と看護・医療分野で学際的に行われる研究の例を理解し、異分野の研究者と議論ができる素養を身に付ける。自身の研究の発展性を検討する。</p>	オムニバス方式
		<p>（概要） 現代の医療に不可欠の医療倫理と医療安全について教授し、その重要性について理解を得る。</p> <p>（オムニバス方式／全10回） （27 長田怜／2回） 医療倫理学概説、研究倫理 医療倫理学の誕生の経緯と扱う話題を概説する。とりわけ臨床倫理学の重要な考察点と一般的な考察手法を明示する。そのうえで、倫理的な考察が求められる具体的な臨床事例について、学生自身で考察してもらう。大学院生の研究に必要な研究倫理、主に、責任ある研究者の行為、研究における不正行為、共同研究のルール、利益相反及びオーサーシップ等について解説する。</p>	オムニバス方式

<p>医療倫理学</p>	<p>(26 小林利彦／1回)          医師のキャリアパスと地域医療          医師のキャリアパス構築の過程において経験するさまざまなイベントや機会等を、地域医療という観点で倫理的に捉えることの重要性について解説する。</p> <p>(25 木村通男／1回)          医療情報の倫理          医療情報システムの概要について、主に研究支援機能を中心に倫理的な観点を踏まえて解説する。</p> <p>(18 大磯義一郎／1回)          医療法と倫理          法は倫理の最低限度といわれるが、我が国の現状は、医療の法化が過度に進んでいるように思われる。医療倫理と医療法のあるべき関係に付き、具体的事例を用いて検討する。</p> <p>(24 山末英典／1回)          精神疾患をめぐる倫理          精神疾患の臨床や研究に関連した、患者の権利、患者の同意、等に関わる倫理と関連する社会問題等について解説する。</p>	
<p>(医療倫理学)</p>	<p>(21 梅村和夫／1回)          臨床研究の倫理          臨床研究を実施する上で理解しなければならない「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「臨床研究法」、ならびに「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」について解説する。</p> <p>(22 堀井俊伸／1回)          感染症予防          感染症に関する基本的な診断・治療法・予防について、倫理的な観点を踏まえて解説する。</p> <p>(23 須田隆文／1回)          希少疾患の倫理          リンパ脈管筋腫症（LAM）を例にとって、希少疾患の治療法の開発において、患者団体、行政、基礎研究者、臨床医の連携の重要性を解説する。</p> <p>(30 加藤孝澄／1回)          終末期医療をめぐる倫理          終末期医療における意思決定等に関わる倫理及び社会問題について解説する。</p>	
<p>行動神経科学</p>	<p>行動神経科学は、脳機能に焦点を当てて行動メカニズムを探求する学際的な学問分野である。その方法論としては、1) 健康なヒトや脳損傷のある患者さんを対象とした心理・行動計測、2) 機能的MRI、構造MRI、PET、MEG、EEGなどの脳イメージング、3) TMS、tDCSなどの経頭蓋脳刺激法などが挙げられる。本授業の目的は、ヒトを対象とした行動神経科学における方法論について基礎知識と技術を習得することである。</p>	<p>集中</p>

	医学統計学	医学で用いられる統計解析や数理モデルに習熟すること。 科学的根拠に基づく医療においてよく用いられる統計解析を、テキストによって学習する。特に、多群比較における交互作用の問題について、具体的なデータに取り組み、解析することをめざす。	集中
	疫学方法論	疫学の目的、疫学指標・人年法・相対危険・寄与危険、疫学研究デザイン、バイアス・偶然・交絡、多変量解析、スクリーニング・検査前確率などの疫学研究の基本的な事項・方法論について理解する。	隔年
基盤・成熟期看護学	基礎看護学特講	【目標】研究活動を継続・発展させていくための研究者・教育者・看護管理者としての能力の基盤を形成する。 【概要】看護学の基盤となる看護理論の生成、看護モデルの構築、概念分析など基本的な知識や、時代のトピックスとなるような思考方法に関する知識を得、看護学や周辺領域・異分野の知識を組み立てて新たな知の体系を作る方法を学修し、また英語の原書を抄読することで国際的に使用されている専門用語や重要概念について理解を深める。	
	基礎看護学特別演習	【目標】博士論文作成に必要な研究方法を理解し、研究計画書が作成できる。 【概要】基礎看護学領域における看護管理、看護教育、看護倫理等に関連する研究課題や健康科学領域のトピックスに関する文献クリティークや研究指導・討議を通じ、研究方法論について理解を深め、自らの課題探究に必要な研究手法を理解し、研究計画を作成する。	
	健康科学特講	【目標】健康科学領域の今日的課題を深く理解し、看護学の視点で考察できる能力を養う。 【概要】健康科学領域の課題に関する英文および和文の総説論文を読み込み、内容について討論する。	共同
	健康科学特別演習	【目標】博士論文作成準備のための方法・考え方を身に付け現実の研究力を養成する。 【概要】健康科学領域の自らの研究課題に関連するトピックスや基礎看護学領域の課題に関する文献クリティーク等を通じて健康科学、基礎看護学に関する理解を深める、さらに自らの研究課題に応じた研究方法について検討・討議し、研究計画を立案・作成する。	共同
	成人看護学特講	人のライフサイクルにおいて長期間にわたる成人期にある対象の理解、健康障害や治療の特徴を踏まえた看護支援の提供、療養生活への支援、家族への支援等、成人看護学領域における主要なテーマについて、国内外の研究論文や単行本等の文献抄読を通じ深く探究する。	

成人看護学特別演習	成人看護学領域での主要な研究課題に関する文献クリティークや研究指導の演習を通じ、研究方法論について理解を深め、自らの課題探究のための予備的スキルを修得する。専門分野の学問とその周辺の学問の知見を結集して、自らの研究課題を見出すことができる。自らの研究課題に応じた研究方法について検討・討議し、研究計画の概要を説明できる。	共同
高齢者看護学特講	人のライフサイクルにおける最終段階の老人期にある対象の理解、健康障害や治療の特徴を踏まえた看護支援の提供、療養生活への支援等、高齢者看護学領域における主要なテーマについて、研究論文や単行本等の文献抄読を通じ深く探究する。老年期にある人と家族を中心とした健康と生活を支える看護理論、およびエビデンスに基づく看護のあり方を探求する。	共同
高齢者看護学特別演習	高齢者看護学領域での主要な研究課題に関する文献クリティークや研究指導の演習を通じ、研究方法論について理解を深め、自らの課題探究のための予備的スキルを修得する。自らの研究課題に応じた研究方法について検討・討議し、研究計画の概要を説明できる。	共同
リプロダクティブヘルス看護学特講	【目標】女性や家族の性と生殖（リプロダクティブヘルス）に関する様々な健康課題をマクロレベル、ミクロレベルから捉え、対象の生活をより豊かにするためのケアに繋げる研究課題に取り組む基礎的能力を養う。 【概要】成育看護学領域の中のリプロダクティブヘルス/ライツに関連する身体的・心理的・社会的問題および課題について、学術的・学際的視点から理解を深めるため、関連分野の国内外の研究論文や書籍等を購読し、自らの研究課題を絞り込んでいく。	共同
リプロダクティブヘルス看護学特別演習	【目標】新たな理論の構築やオリジナリティのあるケア開発に発展させるための研究力を身につける。 【概要】成育看護学領域の中のリプロダクティブヘルス看護学領域で行われている国内外の研究、および関連する看護哲学、看護（助産）理論、心理学、社会学等の研究について多角的な視点から文献クリティークを行い、研究構想から実現可能な研究計画の立案に関連することを段階的に学習する。	共同
小児看護学特講	【目標】子どもの健康問題を多角的に捉え、子どもと家族の特性を考慮した健康の維持・増進に関する研究課題に取り組む基礎的能力を養う。 【概要】あらゆる健康レベルの子どもと家族がおかれている課題解決に向けて、健康問題や成長・発達を支援するための看護について学術的・学際的視点から修得する。子どもおよび家族の生活支援にかかわる研究課題を探求するために、国内外における小児看護学および関連分野の研究論文や、書籍などの講読をおこなう。	共同（一部）

専門科目	成育・広域看護学	小児看護学特別演習	<p>【目標】演習により、多様な研究テーマやトピックに関する文献講読や発表討論を通じて、小児看護学分野における新たな価値の創出や、発展に寄与できる研究の計画立案を目指す。</p> <p>【概要】博士後期課程での研究を遂行するために、研究の構想から実現可能な研究計画の立案に関連することを段階的に学習する。</p>	共同
		地域看護学特講	<p>地域、在宅、産業、学校など多様なコミュニティにおける看護である「地域看護学」に関連する理論やモデル、それらを活用した看護実践について理解を深め、地域看護学の発展に必要な能力を培う。</p>	共同（一部）
		地域看護学特別演習	<p>地域看護学の教育者・研究者としての基盤能力の開発・養成を目的とする。地域看護学における多様な研究課題や研究手法の理解を深め、自立した研究者として必要な研究技法の修得、学際的な視野の拡大、ディスカッション能力等の資質向上を図る。看護学、地域看護学における自身の専門性を持ち、研究指導能力を培う。</p>	共同
		精神看護学特講	<p>精神看護学分野を牽引する研究者として、自律して研究活動を行うために必要な高度の研究能力および基礎となる豊かな知識を獲得し、精神保健医療福祉に関するテーマを探求することを目指す。具体的内容は各自のテーマに応じて異なるが、精神の健康問題とその関連要因に関する理論や、これまでの研究動向および実践活動について幅広く情報を収集し、各自のテーマに沿って整理する。授業および自己学習を通じて理解を深め、各自のテーマを設定して系統的なナラティブレビューを作成し、教員からのフィードバックを受ける。</p>	
		精神看護学特別演習	<p>精神の健康問題とその関連要因を探求し、問題解決や障がいのある人の生活の質の向上に寄与することのできる研究課題とその研究方法論を探求する。内容は各自の関心領域によって異なるが、研究課題は精神の健康問題とその関連要因に関するものとする。精神障がいのある人およびその家族の生活の質の向上に寄与できる研究課題を見出し、適切な研究計画の立案と倫理的配慮を検討し、研究計画書を作成する。</p>	
			<p>共通科目および各専門領域の特論・演習で獲得した知識・技術を基盤とし、各専門領域の教員による指導の下、自らの研究課題を抽出し研究活動を展開して課題解決に資する新しい知見を明らかにし、論文を作成して公表できる。</p>	

		<p>基盤看護学  (① 永田 年)、(② 片山はるみ)、(⑨ 山下寛奈)</p> <p>看護学の基盤である健康科学・基礎看護学に関する研究を実施する。(1) 様々な看護ケアに関連する課題に関し、実験研究を実施する。たとえば創傷や感染等の看護ケアに関する基礎的研究を実施する。(2) 看護実践における倫理的感受性・行動規範の育成、意思決定支援、人材育成等に関する実践モデルの作成と実装、評価に関する研究を実施する。</p> <p>成熟期看護学  (③ 脇坂 浩)、(④ 鈴木みずえ)、(⑩ 影山葉子)</p> <p>成熟期にある対象者のクリティカルケアにおける臨床判断や看護実践の明確化と感染看護、加齢や認知症に伴う介護予防・自立支援、退院や療養の場の移行における家族への看護に関する研究を実施する。</p> <p>成育看護学  (⑥ 武田江里子)、(⑤ 安田孝子(研究指導補助))、(⑪ 坪見利香(研究指導補助))</p> <p>母親の養育者としての発達および発達を促す支援、気質に応じた支援、在住外国人への母子支援に関する研究、女性の各発達段階で生じる可能性のある健康問題に対する支援、女性の出産後の再喫煙に関する研究、健康問題や障害を持つ子どもと家族の生活を支える支援および多職種連携に関する研究を実施する。</p> <p>広域看護学  (⑧ 渡井いずみ)、(⑫ 山本真実)、(⑦ 木戸芳史(研究指導補助))</p> <p>地域や職域において疾病や障害を抱える人への支援に関する研究、メンタルヘルス向上や健康増進活動に関する研究、地域における継続的な子育てや特別ニーズのある子どもへの支援に関する研究、精神保健医療福祉においてサービスの対象となる人や集団に対する支援技術の開発と評価に関する研究を実施する。</p>	
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

特別研究